

令和5年度秋期 プロジェクトマネージャ試験合格発表 分析コメント

(株) アイテック IT人材教育研究部 2023,12,22

10月8日（日）に行われた令和5年度秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析結果をもとにして、プロジェクトマネージャ試験の分析コメントをお知らせします。

■プロジェクトマネージャ試験（PM）

〔令和5年度秋期 プロジェクトマネージャ試験 統計情報〕

応募者	12,197 人
受験者	7,888 人
合格者	1,066 人
合格率	13.5%

令和5年度秋期のプロジェクトマネージャ試験の合格率は13.5%で、前回の14.1%から若干減少しましたが、平成21年以降の今の試験制度になってからとしては平均的な合格率です。

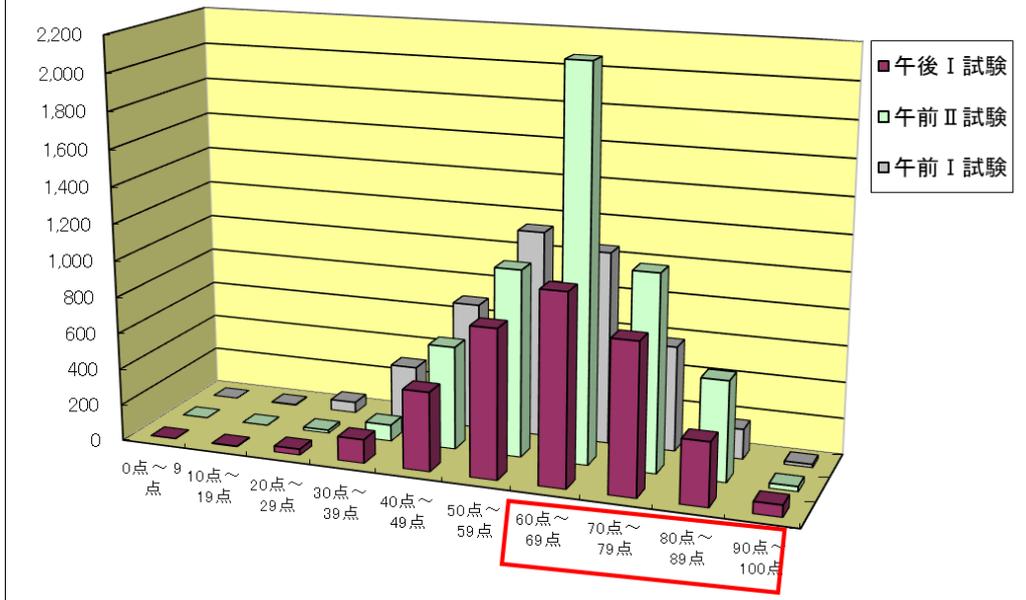
次に発表された得点分布の分析とグラフを示します。

〔令和5年度秋期 プロジェクトマネージャ試験 スコア分布〕

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	1	2	D 259	
10点～19点	4	1	4		
20点～29点	60	17	33	C 346	
30点～39点	304	90	131		
40点～49点	699	567	433	B 589	
50点～59点	1,136	1,023	812		
60点～69点	1,057	2,130	1,039	A 1,066	
70点～79点	578	1,075	823		
80点～89点	166	547	346		
90点～100点	18	28	65		
計	4,022	5,479	3,688	2,260	1,066
対前試験比率		136.2%	67.3%	61.3%	47.2%
午前Ⅰ免除者概算	3,866	49.0%			

合格者数	1,066	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ 60点以上合計	1,819	45.2%	753
午前Ⅱ 60点以上合計	3,780	69.0%	2,714
午後Ⅰ 60点以上合計	2,273	61.6%	1,207
午後Ⅱ-A 評価	1,066	47.2%	0

令和5年度 プロジェクトマネージャ試験 得点分布



午前 I 試験免除の人は増える傾向にありますが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で3,866人（49.0%）おり、受験者の5割近くが午前 II からの受験となっています。

この午前 I 試験で基準点60点以上取ることができた人は1,819人（受験者の45.2%）でした。午前 II 試験で基準点以上の方は3,780人（受験者の69.0%）で前回の90.3%から20%以上も減りました。一方、午後 I で基準点（60点）以上取れた人は61.6%で、前回の56.5%から少し増えました。また、午後 II で合格点のA 評価だった人は47.2%で、前回試験の39.6%と比べて増えています。

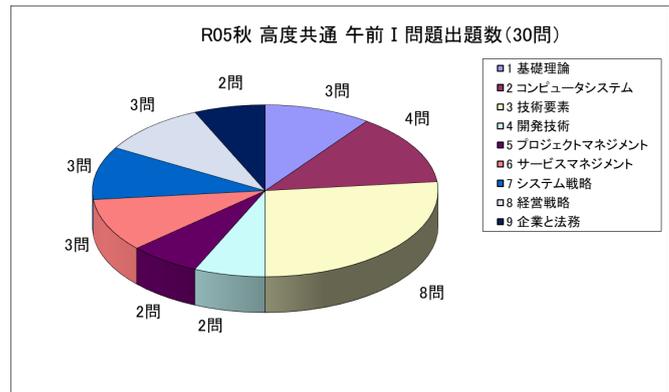
■ 令和5年度秋期 プロジェクトマネージャ試験の出題内容について

（午前 I 試験（高度試験の共通知識問題））

高度試験で共通して出される午前 I 試験の30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験（AP）の午前試験80問の中から選ばれていて、テクノロジー系17問（57%）、マネジメント系5問（17%）、ストラテジ系8問（26%）という出題比率です。

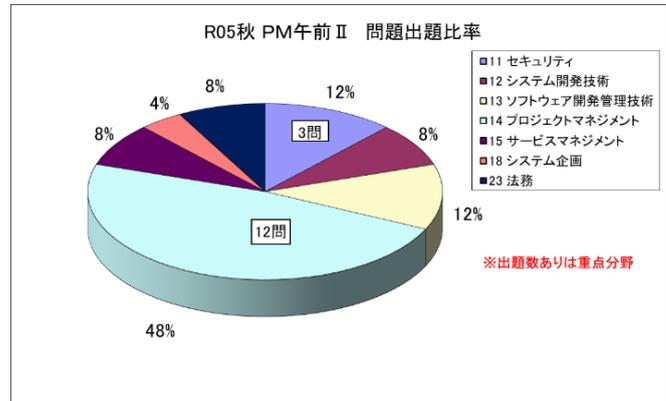
午前 I 試験には免除制度がありますが、高度試験の約4～5割の人が午前 I 試験から受験しています。この中で60点以上の得点で午前 II 試験の採点に進む人は5～6割で、出題範囲が広いので試験問題を難しく感じる人が結構多いといえます。問題が難しいときには4割程度の人しか通過できないときもあったので、最初の午前 I 試験でつまづかないように、早めに試験対策の学習を始め、確実に知識をつけていく必要があります。

- ・ 今回の午前 I 試験の内容は、約6割が過去問題でしたが、定番問題が減り、少し難しい問題が多かったといえます。
- ・ 重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ4問で、最も多い出題数です。
- ・ 新傾向問題は5問で前回の3問から増えています。



（午前Ⅱ試験（専門知識問題））

午前Ⅱ試験では、専門分野のプロジェクトマネジメント（PM）分野から13問出題されました（前回14問）。以前はPMBOKに関して第6版対応で数問出題されていました。PMBOKが第7版に変わり、今回の試験で出題されるか注目していましたがありませんでした。なお、JIS Q 21500:2018「プロジェクトマネジメントの手引」からは4問の出題がありました（前回3問）。午前Ⅰ試験では第7版対応でPMBOKに関する出題がありましたので、今回の試験では出題される可能性があります。過去問題の出題は約7割ありましたが、プロジェクトマネージャ試験の過去問題は5問ありました。前回の8問からは減っています。



今回の午前Ⅱ試験の内容で注意すべきこと

として、前回の試験から実務内容に近い事例による問題が増える傾向がありましたが、今回は4問出題されました（問1,6,7,10）。これらの問題は解答に時間がかかることから難易度の高い問題といえます。午前Ⅱ試験で基準点を超えた人が前回よりも20%も少なくなった原因の一つとして、過去問題にないやや難しい事例問題が出題されたことがあると思われます。今後もこのような問題が出題されると考えられるので、確実に正解できるように十分な学習が必要です。

（午後Ⅰ試験）

午後Ⅰ問題の出題内容は、問1がプロジェクトの統合・資源、問2がプロジェクトのリスク・調達、問3がプロジェクトの資源・コミュニケーションでした。このうち、問1がアジャイル型の開発プロジェクトに関する事例で、今後もアジャイル型の開発の問題は出題されると思われます。問3は解答を絞り込むのが難しい設問があり少し難しい問題でしたが、全体としては例年どおりの難易度でした。

（午後Ⅱ試験）

午後Ⅱの論文問題の出題内容は、問1が計画の修整（テーラリング）について、問2がマネジメント能力の向上につながるプロジェクト終結時の評価についてでした。どちらも指定された記述内容が絞り込まれていて、経験の少ない人は記述しづらかったと思われます。特に、問2は“目標未達成”の内容に関する記述が求められる新しい傾向の問題といえ、全体に記述しづらい問題だったといえます。